

# 素顔拝見



う蝕学分野 助教

大 墨 竜 也

歯学部ニュースは、「大学院へ行こう」以来となります。「素顔拝見」の依頼をいただきまして、すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、自己紹介を兼ねて私の人となりをお伝えできればと思います。

2年前に野杵教授が着任されると同時に、2016年4月からう蝕学分野の助教を拝命いたしました。野杵教授とは、バイオフィルム研究に携わることとなった大学院生時代より、学会等でお話をさせていただく機会もあり、よく存じておりましたので、ありがたい縁を感じております。

生まれも育ちも新潟市で、生粋の新潟人です。市内では新潟弁もあまりイメージがないかもしれませんが、ところによってはなかなかクセのある新潟弁が存在しており、普段は出ませんが、比較的ネイティブな方です。

小さい頃から、釣りが好きで、釣った魚を夕飯のおかずにするのもしばしばで、それが高じて料理も趣味の一つです。小学生の頃、将来の夢と題して作文を書いたのですが、その当時、将来の夢が魚の博士という、今でいう、さかなクンになりたかったのです。今考えてみると、博士になるという点では夢が叶ったわけです。

身内に歯科医がいるわけでもなく、矯正治療を経験したことから歯科に興味を持ち大学受験を考える頃には歯科医を目指すようになりました。学生時代、座学が本当に苦手で、試験になると同級生にお世話になるばかりでした。幸い実習で手を動かす方が得意で、カービングなんか好きでした。赤塚の新入生研修の際にあみだくじで偶然決

まったクラス幹事もはじめは1年経ったら交代を、なんて話でしたが、その後気づけば6年間やんわり押し付けられた感も否めませんが、頼まれると断れない性格がよく現れていると思います。

学生時代は卓球部に所属し、5年生頃からバレー部にも少し顔を出させてもらい、部活が中心にあったように思います。もともと中学時代は、今では盛り上がりを見せていますが、当時はまだパツとしないイメージの卓球部でした。高校ではひよんなことから畑違いのバレー部に入部、高校3年間は部活に明け暮れ、きつい練習を乗り切るための体育会系の気合いとテンションを体得しました。5年生の頃、デンタルの卓球部門の主幹校として、実行委員長を務めさせていただき、周囲の助けもあって部門総合優勝を果たすことができました。さらに、普通部活も引退かという6年生の時に、当時部員の少なかったバレー部に助っ人として夕方になれば、学生技工室を飛び出すように練習に向かい、卓球、バレーのデンタルをハシゴして出場したこともいい思い出です。大変な思いもしましたが、仕事面、人との繋がりも含めて大学の部活動で得たものは大きかったと実感しています。

卒業後、研修医からお世話になったう蝕学分野に大学院生として入局しました。大学院生時代のお話は「大学院へ行こう」(平成25年度第2号)に寄稿させていただいております。苦楽を共にした大学院の同期というのにはかけがえのないもので、時折、集まっては近況を語り合っています。大学に残る仲間も少なくなっていますが、分野の違うお互いの研究も大学院時代から変わらず話すのですが、学生時代とは違うのは、教育の話題でしょうか。総診で臨床実習に携わるようになり、自分の学生時代を思い返すのですが、時は早いもので、10年近く経て、学生から自分はどんな風に見えるのだろうか、不安な気持ちになったりもします。

研究・教育・臨床の3本柱をバランス良くこなしたいところですが、現実はなかなかそうもいっておらず、自分自身に鞭打つ日々です。末筆ながら、微力ではありますが、う蝕学分野、歯学部の発展に尽力して参りたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※



生体歯科補綴学分野 助教

江口香里

こんにちは。平成29年4月1日より生体歯科補綴学分野の助教を拝命いたしました、江口香里と申します。この度、素顔拝見のお話をいただきましたので、この場をお借りして自己紹介をさせていただきますと思います。

私の出身は栃木県宇都宮市です。宇都宮というと、餃子！他には……という方もいらっしゃるかもしれませんが、一見印象が薄いかもしれませんが、栃木県はイチゴや梨の名産地であり、山や川といった自然に恵まれ、温泉やフラワーパーク、牧場、アウトレット、サーキット場といった数多くの観光地が存在する、非常に魅力的な県だと自負しております。スポーツが盛んで、野球やサッカー、バスケットボール以外にもアイスホッケー、モータースポーツ、サイクルロードレースのプロスポーツチームがあることも自慢の一つです。何より、新潟での生活が長くなった私にとって、冬でも太陽を見ることが出来る関東平野の天候は、最大の魅力に感じます。都心にも近からず遠からず、程よく都会、程よく田舎。そんな土地で高校時代までを過ごしました。

高校時代は山岳部に所属していました。「キャンプって楽しそう！」という単純な理由から入部したのですが、日ごろの活動と言えどもっぱら筋トレとランニング、雨の日には重たい荷物を背負いながらひたすら階段の上り下りと、地味に大変

な活動だったと思います。しかしながら、夏にはテントや鍋といった寝食の道具一式を皆で持ち運びながら数日間かけて長野県や山梨県の山々を縦走したり、冬山合宿では雪山に登って滑落停止訓練を経験したり、高所恐怖症ながらクライミングに挑戦したりと、非常に濃い部活動であったと思います。寝食を共にした仲間との絆は強く、有難いことに今でも良き友人となっています。

その後、大学進学のため新潟に移り住みました。大学入試当日まで一度も新潟を訪れたことは無かったのですが、恐らく当時の私は何も考えていなかったのでしょうか。特に何も不安を抱かなかったように思います。以前歯学部ニュースに投稿させていただいた、自身の「入学者のことば」を読み返してみたのですが、やはり入学当初から大学生活を楽しんでいたようです。

大学ではバドミントン部に所属していました。講義や実習に追われながらも、夏のデンタルに向けてバドミントン中心の生活を送っていました。今では全くですが、当時は機敏なフットワークで華麗にプレーをしていました（…と思います）。勉学の方は可もなく不可もない、いたって普通の歯学部生でした。

学部卒業後、研修医の際に冠ブリッジ診療科でお世話になり、その後大学院生として生体歯科補綴学分野に入局し、現在に至ります。大学院に進学した理由は多々ありますが、同期生が比較的多く大学院に進学したことも私の大学院進学を後押しする一つの要因であったかと思えます。やはり一つ同じ教室で6年間の学部生活を共に過ごしてきた同期の存在というものは心強く、良い同期生に恵まれてよかったなあとつくづく感謝するばかりです。

ここまで、拙文にお付き合いいただきありがとうございます。まだまだ未熟者ではありますが、教員として、日々研鑽を積んでいきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

※

## 予防歯科学分野 助教

### 久保田 悠

はじめまして。2016年7月1日付で予防歯科学分野の助教を拝命しました久保田 悠（くぼた ゆう）と申します。今回、素顔紹介について原稿依頼をいただきましたので、自己紹介ならびに現在の仕事、プライベートについてざっくばらんに述べていきたいと思っております。

生まれは神奈川県の大磯町で、湘南地域の一部といえればわかりやすいのではと思います。日本初の海水浴場が有名で、夏は多くのサーファーで賑わいます。しかし、今までサーフィンをしたことがなく、湘南ボーイには程遠いです（笑）中学・高校時代を鎌倉で過ごした後、昭和大学歯学部に入りました。大学時代、勉強はほどほど（先生方すみません！）に部活のアメリカンフットボール（アメフト）に大半の時間を費やしていました。アメフトとは、ラグビーに似た、プロテクターを着けたゴツイ大男が走って、タックルする…スポーツというよりむしろ格闘技みたいなものです。そのため、大学6年間で体重が30キロ近く増加し、卒業時には入学式に着用していたスーツが入らなくなってしまいました。人間の体はこんなにも変わるものなのだなと驚いています。その後、昭和大学大学院（口腔衛生学教室）、勤務医、海外放浪（カンボジアでの勤務、タイでの公衆衛生課程）を経て新潟大学歯学部へ赴任しました。

なぜ暖かい地方から寒い新潟に来ることになったのかを振り返ってみますと、海外滞在時に当教室の小川先生に直接声を掛けていただいたことと、私の苗字と国家試験の受験番号（1000番）が新潟で有名なお酒「久保田千寿」に迎えられるのかな…と新潟に対して何かと縁を感じます。

そして、肝心な仕事ですが、臨床、WHO Collaborating Centre、学生教育、研究と多岐

にわたります。私は、WHO関連の仕事、カンボジアでの小児う蝕予防の研究等で海外出張が多く医局の先生には迷惑をかけている分、しっかりと成果を出せるようにしなければと思います。また、新潟大学歯学部は国際交流が盛んで、海外からの先生、留学生が多く在籍しており、帰国後も海外との繋がりがあります。そのため、いつか彼らと一緒に仕事ができればと思います。

新潟で生活し始めて1年半ほど経ちました。新潟は、おいしい食べ物はもちろんのこと、音楽・スポーツが年中楽しめるのが魅力的です。ジャズストリート、ジャズ喫茶やリューとぴあでのライブコンサート、大学近くの白山競技場での運動は心と体の気分転換に最高の環境ですが、風が強いのが唯一の難点です。その一方で、おいしい食べ物のせいか、1年半で体重が5キロ近く増えてしまいました…（大学時代は、体重が増えると非常に嬉しかったのですが…アメフト部あるあるですね。）そのため、健康増進を目標に、週1回のランニング、ジム通いを行い、マラソンレースの参加も目論んでいます。

以上、長々と書いてしまいましたが、今までいただいた人との縁、つながりを大切に新潟大学歯学部へ貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



カンボジアにて：一番左端が私です